

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

26年 10月15日

地区名	小田切（山田中）
事業名	「食」を通じた地域コミュニティの拡大と健康づくり
団体名及び 代表者名	（団体名）小田切地区農村環境改善センター等利用運営委員会 （代表者名）酒井昌之 （連絡先）229-3330

■事業概要

老朽化した調理器具を更新等し、施設の利用促進を図ることで健康維持やコミュニティの拡大を図る。	【総事業費】 177,000円 【補助金額】 177,000円
--	--

【活動写真】

--	--

※資料等ある場合は添付する。

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

調理器具の導入により簡単でスピーディに調理ができ、より多くの健康の課題を克服するメニューが作れた。特に今まで調理器具が無く作ることができなかったパンや、野菜等を使ったスムージーは好評で健康寿命が延びることが期待できる。 幅広い年齢層で共同して作業ができ、地域コミュニティの拡大が図られている。

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施		○		
事業の効果		○		
特記事項 （評価理由等）				

■今後の取組予定

PRを工夫する等してさらなる利用促進を図る。



<支所で記入>

□事業評価（小田切支所）

[評点は5段階評価：1点（悪い）～5点（良い）]

	評価項目	評点	評価説明
事業効果	目的の達成	4	一定の目的は達成されているが少し長い目で見ることがある。
	地域等への貢献	4	コミュニティの拡大を図る手段として貢献している。
	事業の継続	4	地区内で貴重な調理実習の場として今後も活用できる。
	費用対効果	3	さらなる利用促進を図る必要がある。
総合評価		4	地区内で貴重な調理実習の場を整備したことは地域コミュニティの拡大に寄与するものである。

□支所長コメント

小田切農村環境改善センターは、地区内において調理室を備えた貴重な集会所であるが、利用状況はいまひとつ低調な状況にある。

調理器具を更新・導入したことにより、健康的な食生活向上や地域のコミュニティの場としてさらに利用促進を図ることができる。

小田切支所長